

本 社	大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号	〒530-8230	TEL(06) 6348-4210	FAX(06) 6348-3443
東京支社	東京都中央区京橋一丁目 17 番 10 号	〒104-8345	TEL(03) 6887-8827	FAX(03) 6887-8829
名古屋支社	名古屋市西区市場木町 390 番地	〒452-0805	TEL(052) 856-1631	FAX(052) 856-1634

2021 年 11 月 30 日

**岩国事業所の自家火力発電所を更新**  
～環境負荷の低い燃料を使用し、温室効果ガス排出量を大幅に削減～

東洋紡株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:竹内郁夫、以下「当社」)は、岩国事業所(山口県岩国市)の自家火力発電所を更新し、燃料を石炭から液化天然ガス(以下「LNG」)および古紙・廃プラスチック類を主原料とした固形燃料の RPF<sup>※1</sup>に転換します。本年 11 月に着工し、2023 年 10 月の運転開始を目指します。燃料転換により、温室効果ガス(Greenhouse Gas、以下「GHG」)の排出量を年間約 8.0 万トン<sup>※2</sup>削減します。

※1: Refuse derived Paper & Plastic densified Fuel の略

※2: 温室効果ガスの排出量は、温対法調整後排出量の考えに基づき計算



岩国事業所



岩国事業所に新設する自家火力発電所(イメージ)

当社グループは地球温暖化・気候変動を事業活動の継続に関わる大きなリスクの一つと認識し、2050 年度までに GHG 排出量をネットゼロ(実質ゼロ)とするカーボンニュートラルの実現を目標に掲げ、生産活動に伴う GHG 排出量の削減に取り組んでいます。

岩国事業所に新設する自家火力発電所では、燃料転換による脱石炭の実現や、発電設備から発生する高温排ガスや LNG の冷熱を有効に利用する省エネ制御技術の導入により、環境負荷を大幅に低減します。また、カーボンニュートラルの早期実現のため、メタネーション<sup>※3</sup>で製造する合成ガス、バイオマス燃料、アンモニア燃料、水素混焼<sup>※4</sup>、CCUS 技術<sup>※5</sup>など、さまざまな次世代エネルギー技術の導入に向け、本設備を利用した検証活動を進めます。

※3: 二酸化炭素と水素から化学反応によりメタンを合成すること

※4: 現行設備の燃料である天然ガスと水素を混ぜて燃焼させること

※5: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage の略、二酸化炭素回収・有効利用・貯留技術のこと

今後、岩国事業所は「低炭素ものづくり」が可能な製造拠点として、環境に配慮した事業活動を推進するとともに、社内外の事業誘致に努めています。新たな事業や雇用の創出を通じて、地域の発展に貢献することを目指します。

なお本件は、経済産業省「令和 2 年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)」に採択され、大阪ガス株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:藤原正隆)の完全子会社である Daigas エナジー株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:井上雅之)と当社が共同で実施するものです。

### 岩国事業所の火力発電所の概要

- ・所在地: 山口県岩国市灘町 1-1(東洋紡株式会社 岩国事業所内)
- ・設備概要: LNG 貯槽(175kL)5 基、RPF ボイラ(30t)1 基  
ガスタービン、蒸気タービンほか
- ・発電出力: 16,420kW
- ・着工／発電開始: 2021 年 11 月／2023 年 10 月(予定)
- ・設備投資額: 約 90 億円

### 岩国事業所について

1937 年に操業を開始した、ポリマー工場、機能材工場、機能膜工場を擁する複合事業所。各種産業用樹脂から、自動車内装材などの産業資材・衛生材料用繊維などの生活資材、医療用・海水淡化用の機能膜など、当社が企業経営の最重要課題の一つと位置付ける「環境」をテーマにした幅広い分野の高機能製品を生み出しています。

以 上

＜お問い合わせ先＞

東洋紡株式会社

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

(本社) 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443

(東京) 電話:03-6887-8827 FAX:03-6887-8829

E-mail: [pr\\_g@toyobo.jp](mailto:pr_g@toyobo.jp)